



mandom / Human & Freedom

第93期  
年間



株主通信

2009年4月1日～2010年3月31日まで

GATSBY QUICK MOVING MIST

株式会社 マンダム

証券コード: 4917

## 企業理念

### 基本理念

# 美と健康を通じ、快適な生活にお役立ちする

### 経営理念

生活者発・生活者着  
全員参画経営  
社会との共存共栄

### 企業行動指針

1. 価値向上考働
2. 自己実現考働
3. 収益性向上考働
4. 倫理的考働
5. 取組先協働考働
6. 環境保全考働
7. 社会貢献考働



代表取締役 社長執行役員  
にしむら もとのぶ  
西村 元延

株主の皆さまへ	02
事業推進の概況	06
財務諸表(連結)	11
財務諸表(単体)&株主還元の基本方針	13
株式の状況&会社概要	14

## 株主の皆さまへ

株主の皆さまにおかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

また日頃の温かいご理解とご支援に厚くお礼申し上げます。

第93期(2010年3月期)は、第9次中期3ヵ年経営計画(MP-9、以下MP-9と記載)の2年目にあたります。MP-9は、「新たな成長領域づくりにより、今後の持続的成長を軌道に乗せるための中期経営計画」と位置づけてスタートし、「コア事業である男性グルーミング事業の安定的成長」「新たな成長領域として位置づける女性分野(女性コスメタリー事業・女性コスメティック事業)の成長路線づくり」「成長エンジンとして位置づける海外事業の継続的な拡大」を戦略テーマとして各事業を推進しております。

収益性・資本効率につきましては、持続的成長に向けたマーケティング投資と利益額の増加による収益性の確保と、事業規模拡大への取り組みによる長期的・段階的な資本効率の向上を目指して取り組んでおり、株主還元につきましては、安定的かつ高水準な株主還元を目指しております。

MP-9の初年度(2009年3月期)における米国の金融不安に端を発した世界経済悪化の影響により、国内においては内需が急激に冷え込み、当社グループが展開しているアジアにおいても、高い経済成長から一転して減速しました。また、為替においても、急激な現地通貨安となるなど、非常に厳しい経済環境となりました。当社グループ事業におきましては、男性グルーミング事業が、コアブランドである「ギャツビー」を中心に、国内において競争が激化したものの堅調に推移し、海外においても現地通貨ベースでは好調に推移しました。女性コスメタリー事業は、新規参入した女性白髪染めの低迷により、当初計画には及びませんでした。女性コスメティック事業は、国内・海外ともに計画を上回り好調に推移しました。海外事業は、現地通貨ベースでは「ギャツビー」を中心に好調に実績を拡大したものの、アジア

通貨安の影響により、円換算額ベースでは当初計画から大きく乖離しました。これらの結果、当初計画の達成は非常に厳しい状況となっております。

MP-9最終年度である第94期(2011年3月期)も、世界経済の低迷や国内市場の競争激化など、引き続き厳しい経済環境が予想されます。しかしMP-9において、厳しい環境の中でも堅調に推移している男性グルーミング事業や、好調に推移している女性コスメティック事業、海外事業への取り組みを強化し、過去最高売上を目指してまいります。また、内製化などの原価低減活動やマーケティング費用の一層の効率化、一般管理費の徹底的な見直しに継続して取り組み、今後の収益性の回復に向け、増益を目指してまいります。

## 第93期(2010年3月期)業績の概況

当期におけるわが国の経済は、後半に景気回復の兆しが見え始めたものの、年間を通して内需関連の企業収益の減少や雇用情勢の悪化が続き、総じて厳しい状況で推移しました。当化粧品業界においても、生活防衛意識や節約志向が高く、デフレ局面による厳しい収益環境が続いております。一方、アジア経済においては、中国で景気刺激策の効果による回復が見られ、他の国や地域でも総じて持ち直しの動きで推移しました。

### ■ 連結売上高について

国内は堅調に推移、海外は好調に推移したものの、  
為替のマイナス影響が大きく、減収

連結売上高 **543億4百万円** (前期比 1.6%減)

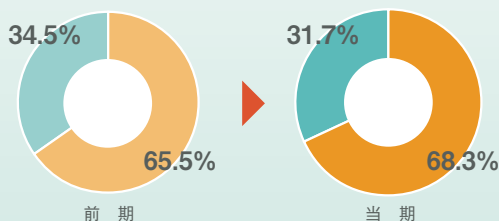
連結売上高は前期より8億74百万円減収の543億4百万円(前期比1.6%減)となりました。

国内においては、男性グルーミング事業が「ギャツビー」のフェイス&ボディカテゴリーの牽引により堅調に推移し、また好調な女性コスメティック事業が大幅に伸長したことにより、

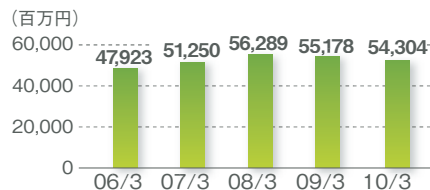
女性コスメタリー事業の伸び悩みがあったものの、2.6%の増収となりました。

海外においては、男性グルーミング事業が「ギャツビー」を中心に展開を拡大したことにより好調に推移し、女性コスメティック事業も順調に伸長したことにより、現地通貨ベースでは高い成長を維持しました。しかし、アジア通貨安の影響を受け、円換算額ベースでは9.5%の減収となりました。この結果、連結売上高における海外比率は、31.7%となり、前期より2.8ポイント減少しました。

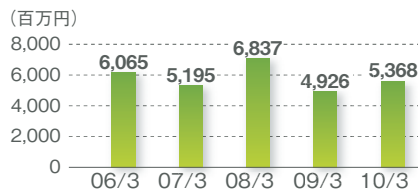
連結地域別売上高 同期構成比推移



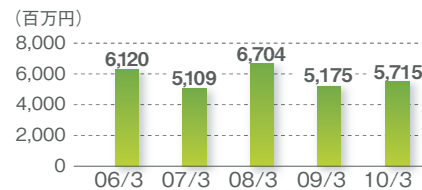
### 売上高



### 営業利益



### 経常利益



## ■ 連結利益について

コストの抜本的見直しにより、  
営業利益・経常利益では増益となったものの、  
純利益においては、減益

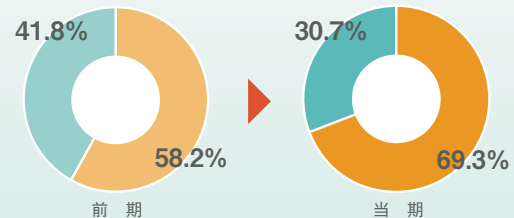
連結営業利益	<b>53億68百万円</b> (前期比 9.0%増)
連結経常利益	<b>57億15百万円</b> (同 10.4%増)
連結当期純利益	<b>28億 2百万円</b> (同 6.9%減)

海外において原材料高による原価率の上昇があったものの、国内において、返品が減少したことや、原材料高に対応した代替品の登用および内製化比率の向上など継続した原価低減活動への取り組みにより、原価率は微増に止まりました。また国内において、マーケティング費用の効率化や一般管理費の徹底的な見直しに取り組んだことにより、連結営業利益は、前期より4億42百万円増益の53億68百万円(前期比9.0%増)となり、連結経常利益は前期より5億40百万円増益の57億15百万円(前期比10.4%増)となりました。その結果、連結営業利益における海外比率は、30.7%となり、前期より11.1ポイント減少しました。

連結当期純利益は、固定資産除却損の発生や、前期発生した税制改正にともなう法人税等調整額減額分の影響により、前期より2億8百万円減益の28億2百万円(前期比6.9%減)となりました。

期末配当金につきましては、1株あたり30円、年間で60円(連結での配当性向50.3%)となりましたことをご報告させていただきます。

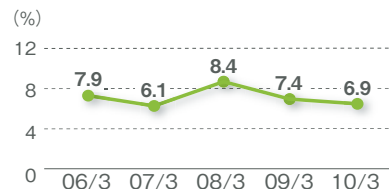
連結地域別営業利益 同期構成比推移



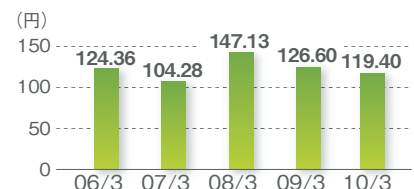
## 当期純利益



## 自己資本当期純利益率 (ROE)



## 1株当たり純利益 (EPS)



## 第94期(2011年3月期)業績の見通し

第94期(2011年3月期)につきましては、世界経済が回復に向かうことに伴い、アジア経済も内外需ともに緩やかに回復するものと想定されます。日本経済においても、景気の下ぶれリスクや内需の勢いに欠けるものの、緩やかな拡大が続くものと思われま

す。このような状況の下、当社グループは、引き続き新たな成長領域づくりに向け、国内外グループ会社一体となり取り組んでまいります。

### ■ 連結売上高見通し

「ギャツビー」、女性コスメティック事業、  
海外事業の取り組み強化

連結売上高 **578億円** (前期比 6.4%増)

堅調に推移する「ギャツビー」を中心に男性グルーミング事業と好調な女性コスメティック事業を伸長させるとともに、現地市場にて順調に拡大を続ける海外事業の成長を加速させることで、連結売上高で、578億円を見込んでおります。

国内においては、「ギャツビー」を中心とした提案強化により、男性グルーミング事業の伸長を図るとともに、女性コスメティック事業のアイテム拡充と展開拡大により、増収を見込んでおります。

また海外においても、「ギャツビー」を中心とした展開拡大に取り組み、高成長を続ける海外事業の成長により、増収を見込んでおります。

### ■ 連結利益見通し

成長分野への投資を継続するも、  
コストの徹底した見直しを実施

連結営業利益	<b>59億50百万円</b> (前期比 10.8%増)
連結経常利益	<b>60億円</b> (同 5.0%増)
連結当期純利益	<b>32億円</b> (同 14.2%増)

成長分野への販売費などの投下を行う一方、内製化比率の向上などによる原価率低減活動を継続するとともに、より一層のマーケティング費用の効率化と一般管理費の予算統制の徹底などに取り組むことにより、連結営業利益は増益を見込んでおります。

なお連結経常利益、連結当期純利益についても、増益を見込んでおります。

第94期の配当金につきましては、第93期と同じく1株あたり年間60円(中間30円、期末30円)を予定しております。

マンダムグループは、生活者の皆さまにお役立ちするため、グループ一丸となり事業活動に取り組んでまいりますので、株主の皆さまにおかれましては、今後とも格別のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2010年6月



## 事業推進の概況

## 男性グルーミング事業

男性の日常の身だしなみやおしゃれ全般に使用する商品群で、安定成長を目指すマダムグループのコア事業です。



グループのコア事業である男性グルーミング事業のグループ売上高は前期比0.4%の増収となりました。

## 【国内】

国内は、ヘアスタイリングカテゴリーやフェイス&ボディカテゴリーへの新提案により「ギャツビー」が好調に推移し、増収となりました。

「ギャツビー」は、商品面ではヘアスタイリングカテゴリーにおいて、主剤型であるヘアワックスの「ムービングラバー」を軸として提案している「ムービングスタイル」の充実のため、**「クイックムービングミスト」**を発売し、多様化する生活者ウォンツへの対応強化に取り組みました。



また、フェイス&ボディカテゴリーに「ギャツビー クイックムービングミスト」において、**フェイスケアシリーズをより生活者の満足度を高めたシリーズとして男性マスブランドで初めて全品「医薬部外品」化**<sup>\*1</sup>しました。



「ギャツビー フェイスケアシリーズ」

マーケティング面では、引き続き**イメージキャラクターに「木村拓哉」**さんを起用し、CMや雑誌、WEBを活用したクロスメディア展開を図るなど、認知拡大に取り組んでいます。



引き続き「木村拓哉」さんを起用

「ルシード」は、今後のマーケット拡大が期待できる40歳前後の**アラフォー世代と呼ばれるミドル層のエイジングケア商品**を発売するとともに、商品の使用方法を雑誌、WEBを活用して配信することで悩みの解決提案を行っています。



アラフォー男性の加齢意識に対応した商品を展開

## 【海外】

海外では、展開各国で「ギャツビー」を中心に好調に推移し、現地通貨ベースでは二桁成長していますが、為替のマイナス影響により円換算ベースで減収となりました。

「ギャツビー」は、商品面ではインドネシアにおいてスタイリングカテゴリーのワックスシリーズと、フェイス&ボディカテゴリーの洗顔シリーズのリニューアルに続き、ロールオンタイプのデオドラントやオードトワレを発売するなど、商品の拡充に取り組みました。マーケティング面では**インドネシアや中国、タイで独自のCMを制作**するなど、現地の生活者に合わせた展開を行うことで、ブランド認知やブランドイメージの向上に取り組んでいます。



リニューアルした「ギャツビー ヘアワックスシリーズ」の新CM(インドネシア)



## 事業推進の概況

また、「ギャツビー学生CM大賞」(2006年～)や「ギャツビースタイリングダンスコンテスト」(2008年～)などの生活者参加型イベントを、「ギャツビー」を展開している日本を含むアジアの国々で開催するなど、生活者に「ギャツビー」をより身近に感じて親しみを持ってもらうための取り組みを継続して行っています。



日本・韓国・香港で「ギャツビー学生CM大賞」を開催



アジア7つの国と地域で「ギャツビースタイリングダンスコンテスト」を開催



※1  
男性マズブランドで初  
ギャツビーフェイスクエアシリーズ全品「医薬部外品」化  
マンダムでは、男性特有の悩みを解決できる商品の研究と提案に取り組んでいます。  
今春、ギャツビーフェイスクエアシリーズは全品「医薬部外品」化し、男性の肌の悩みに応えられる薬用フェイスクエアシリーズに進化しました。  
ヤング男性の肌の悩みとして「ニキビ・吹き出物」「カミソリ負け」といった肌トラブルがありますが、この肌の悩みを解決するために、洗顔料や整肌ローションに殺菌成分や抗炎症成分を配合して「医薬部外品」化しました。  
詳しくはこちら「ニュースリリース」  
[http://www.mandom.co.jp/release/2009/src/2009121101\\_02.pdf](http://www.mandom.co.jp/release/2009/src/2009121101_02.pdf)

## 女性コスメタリー事業

ヘアスタイリングやフェイス&ボディケアなど、日常の身だしなみやおしゃれに使用する商品群で、新たな成長領域として成長路線作りを目指す事業です。



女性コスメタリー事業のグループ売上高は、前期比15.3%の減収となりました。

### 【国内】

国内では、「ルシードエル」が前期実施したスタイリングシリーズ及びヘアカラーシリーズのリニューアルによる売上増の反動により伸び悩み、減収となりました。

商品面では、「ルシードエル」で成長市場であるアウトバストリートメント市場に商品を発売し、新たなカテゴリでの提案に取り組みました。



「ルシードエル アウトバストリートメントシリーズ」

マーケティング面では雑誌掲載や街頭広告、ウェブサイトも効果的に活用した展開を実施しました。



「木村カエラ」さんを起用した広告展開



## 【海外】

海外では、「ピュセル」フレグランスシリーズ、ボディケアシリーズが順調に推移したものの、為替のマイナス影響で減収となりました。

商品面では、インドネシアを中心にASEAN地域で展開している「ピュセル」において、日本の四季をイメージしたフレグランスシリーズの「フォーシーズンズ」の発売に続き、ボディケアカテゴリーで**ロールオンタイプのデオドラントをリニューアル**するなど、ラインナップの強化に取り組みました。



「ピュセル デオドラントロールオンシリーズ」

マーケティング面では、CMの投下や**積極的な店頭展開**を行うなど、認知・使用率拡大に取り組みました。



インドネシアでの店頭展開

## 女性コスメティック事業

メイクアップやスキンケアなど女性のビューティーライフに彩りを添える商品群で、新たな成長領域として成長路線作りを目指す事業です。



女性コスメティック事業のグループ売上高は、前期比19.4%の増収となりました。

## 【国内】

国内では、スキンケアカテゴリーのリニューアルや新しいカテゴリーへの拡充が順調に進んだことにより好調に推移し、増収となりました。

商品面では、高保湿スキンケアシリーズ「**バリアリペア**」で**新提案となる導入クリームを発売**し、「**クレンジングエクスプレス**」に**クレンジングシートを追加**するなど、既存ブランドの商品拡充を行うとともに、新たにクレンジングオイル「**アロマブリーズ**」を提案するなど、肌へのうるおいやさささ、心地よさにこだわった商品の拡充とラインナップの強化を行いました。



「バリアリペア」



「クレンジングエクスプレス」



香るクレンジングオイル  
「アロマブリーズ」

## 事業推進の概況

### 【海外】

海外では、スキンケア・メイクブランド「ピクシー」が、**リニューアルしたスキンケアラインのUVホワイトニングシリーズとアクネブライツシリーズ**を中心に好調に推移し、増収となりました。



【ピクシー UVホワイトニングシリーズ/アクネブライツシリーズ】

「ピクシー」は、マーケティング面では、インドネシア市場で重点強化を図り、**CMの投下や各地でのイベントを年間を通して継続的に行うなど、生活者への認知拡大に注力**しています。



CM投下による生活者との接点拡大

## 海外事業

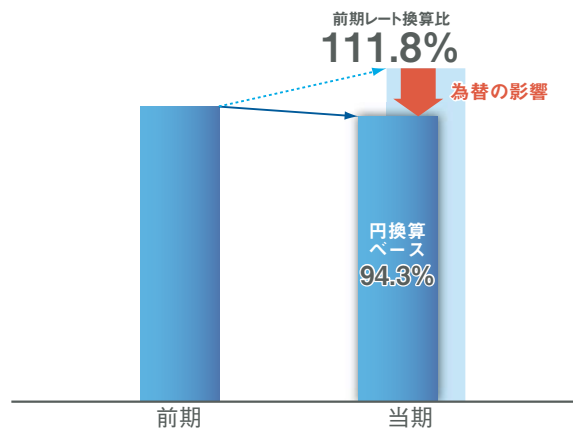
今後も高い成長が望める海外事業は、引き続きグループ経営の成長エンジンとして位置づけ、前中期経営計画にて戦略展開してきた累積効果を活かし、各国の市場環境に適応した展開強化を行っています。

**為替の影響により円換算ベースでは減収となるも、現地通貨ベースでは高成長を維持**

海外事業の実績は、アジア各国での現地通貨ベースにおいて概ね好調に推移し、ほぼ二桁成長したものの、アジア通貨下落の影響により、円換算ベースで減収となりました。

展開各国では、各国の特性に合わせた商品展開やマーケティング展開を実施することで、好調に推移し、海外事業グループ売上高全体で前期レート換算比111.8%と二桁成長（現地通貨ベース）を維持しています。

### ■海外事業グループ売上高伸長率



## インドネシア

海外重要拠点であるインドネシアでは、インドネシア国内で「ギャツビー」を中心とした男性化粧品事業が堅調に推移したことや、女性コスメタリー事業での「ピュセル」、女性コスメティック事業での「ピクシー」が好調に推移したことにより、売上規模が拡大しています。また、貿易事業においても、輸出専用商品の拡充などにより堅調に推移し、その結果、国内・貿易合わせて現地通貨ベースで二桁成長を維持しています。



「ギャツビー オードトワレ」



インド専用商品「ギャツビー シェービングシリーズ」



インドでの店頭展開

## その他

新たなエリアでの展開として、2009年10月からミャンマー、同年11月からベトナムへの商品展開を本格的に開始し、インドシナ半島での展開を進めています。



mandom

### ペーパー生産ラインの増強完了

2009年末より進めていました福崎工場のペーパー商材の生産設備増強が完了しました。

これまで夏場に需要の偏りのあったペーパー商材が、年間を通して需要が見込める商材となってきていることや、徳用サイズの出荷が増加していることから、今後ますます需要が伸びると考えられます。

今回の設備投資により、2008年3月期と比較して約2倍の生産増強が可能となることで、フェイシャルペーパー、ボディペーパー等のペーパー商材の需要拡大にフレキシブルに対応できる体制となり、チャンスロスの軽減が可能となりました。また、内製化比率の向上により、製造コストの面においても原価低減が見込め、更なるコスト競争力が期待できます。



「ギャツビー シートコスメ」

## 財務諸表(連結)

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

### 財務諸表のPOINT

#### POINT ①「流動資産」

主に、現金及び預金、有価証券が増加しました。

#### POINT ②「有形固定資産」

マンダム単体において、エアゾール・ペーパーの生産増強のため、設備投資を行ないました。

#### POINT ③「流動負債」

主に、未払法人税等が増加しました。

#### POINT ④「自己株式」

自己株式の取得を行なったため、増加しました。

#### POINT ⑤「営業活動によるキャッシュ・フロー」

主に税引等調整前当期純利益の増加、棚卸資産の増減額の減少、法人税等の支払額の減少によりキャッシュ・インが増加しました。

#### POINT ⑥「投資活動によるキャッシュ・フロー」

主に有形固定資産の取得、有価証券の売買差額によりキャッシュ・アウトが増加しました。

### 連結貸借対照表(要旨)

(単位：百万円)

科目	当期 2010年3月31日現在	前期 2009年3月31日現在
(資産の部)		
① 流動資産	32,918	29,319
固定資産	21,263	19,758
② 有形固定資産	12,960	11,484
無形固定資産	616	739
投資その他の資産	7,686	7,534
資産合計	54,182	49,078
(負債の部)		
③ 流動負債	7,226	5,148
固定負債	1,896	1,550
負債合計	9,123	6,698
(純資産の部)		
株主資本	46,245	45,539
資本金	11,394	11,394
資本剰余金	11,235	11,235
利益剰余金	25,463	23,865
④ 自己株式	△1,847	△ 956
評価・換算差額等	△4,752	△ 6,007
少数株主持分	3,565	2,847
純資産合計	45,058	42,379
負債純資産合計	54,182	49,078

## 連結損益計算書(要旨)

(単位：百万円)

科目	当期	前期
	2009年4月1日から 2010年3月31日まで	2008年4月1日から 2009年3月31日まで
売上高	54,304	55,178
売上原価	24,553	24,920
売上総利益	29,750	30,257
販売費及び一般管理費	24,381	25,331
営業利益	5,368	4,926
営業外収益	485	442
営業外費用	138	193
経常利益	5,715	5,175
特別利益	24	808
特別損失	265	1,147
税金等調整前当期純利益	5,474	4,836
法人税、住民税及び事業税	2,349	1,811
法人税等調整額	△112	△472
少数株主利益	434	486
当期純利益	2,802	3,011

## 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：百万円)

科目	当期	前期
	2009年4月1日から 2010年3月31日まで	2008年4月1日から 2009年3月31日まで
5 営業活動によるキャッシュ・フロー	7,766	3,458
6 投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,111	△1,204
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,291	△2,045
現金及び現金同等物に係る換算差額	184	△834
現金及び現金同等物の増減額(△減少)	549	△625
現金及び現金同等物の期首残高	9,235	9,791
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△減少)	△41	69
現金及び現金同等物の期末残高	9,742	9,235

## 連結株主資本等変動計算書 — 当期(2009年4月1日から2010年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
2009年3月31日残高	11,394	11,235	23,865	△956	45,539	△628	△5,378	△6,007	2,847	42,379
当期変動額										
剰余金の配当			△1,177		△1,177					△1,177
当期純利益			2,802		2,802					2,802
自己株式の取得				△891	△891					△891
自己株式の処分		△0		0	0					0
連結範囲の変動			△27		△27					△27
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)						355	899	1,254	717	1,972
当期変動額合計	—	△0	1,597	△891	706	355	899	1,254	717	2,678
2010年3月31日残高	11,394	11,235	25,463	△1,847	46,245	△273	△4,479	△4,752	3,565	45,058

## 財務諸表(単体)

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

### 貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	2010年3月31日現在	2009年3月31日現在
<b>(資産の部)</b>		
流動資産	22,939	21,079
固定資産	24,597	23,790
有形固定資産	9,612	8,703
無形固定資産	294	344
投資その他の資産	14,691	14,742
資産合計	47,537	44,870
<b>(負債の部)</b>		
流動負債	5,799	4,035
固定負債	1,471	1,222
負債合計	7,270	5,258
<b>(純資産の部)</b>		
株主資本	40,545	40,243
資本金	11,394	11,394
資本剰余金	11,235	11,235
利益剰余金	19,763	18,570
自己株式	△1,847	△956
評価・換算差額等	△277	△630
純資産合計	40,267	39,612
負債純資産合計	47,537	44,870

### 損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

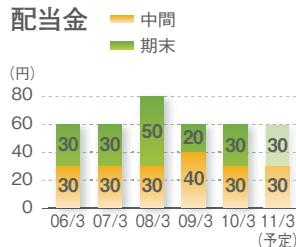
科目	当期	前期
	2009年4月1日から 2010年3月31日まで	2008年4月1日から 2009年3月31日まで
売上高	38,121	37,316
売上原価	17,082	16,776
売上総利益	21,038	20,540
販売費及び一般管理費	17,407	17,734
営業利益	3,630	2,805
営業外収益	726	1,019
営業外費用	68	154
経常利益	4,288	3,670
特別利益	13	794
特別損失	262	1,131
税引前当期純利益	4,039	3,333
法人税、住民税及び事業税	1,761	1,049
法人税等調整額	△91	94
当期純利益	2,369	2,189

## 株主還元の基本方針

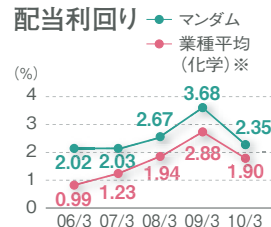
### >>> 配当に関して

当社は、株主の皆さまに対する利益還元を経営の重要政策として位置付け、中長期的な事業拡大、新規事業開拓及び企業リスク対応のための内部留保に配慮しつつ、配当金による株主還元を優先的に実施することを基本方針としており、連結ベースでの配当性向40%以上を目標としてまいります。

### 配当金



### 配当利回り



※東証一部上場企業(無配企業を含む)の化学業種平均(各年3月末日現在)  
出所:東京証券取引所「東証統計月報」

### >>> 株主優待に関して

当社は、株主の皆さまに対する利益還元の一環として、株主優待を行っております。100株以上の株式を所有(3月31日現在)の皆さまに、年1回5,000円相当の当社詰め合わせを、6月初旬にお届けしております。優待商品は、株主の皆さまからのご要望・市場での動向を踏まえ、新製品を中心に当社のおすすめの商品を選定しております。

株主の皆さまに、商品をお使いいただき、マンダムをより身近に感じていただきたいと考えております。



2010年実施  
株主優待  
詰め合わせ

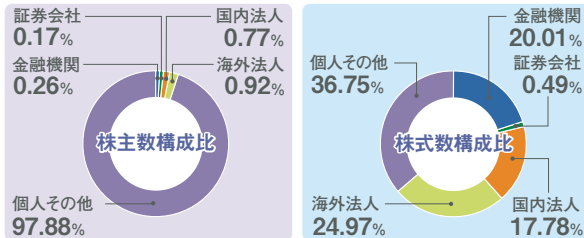


## 株式の状況

## ■ 株式の状況

[2010年3月31日現在]

- 発行可能株式総数 81,969,700 株
- 発行済株式総数 24,134,606 株
- 株主数 17,189 名
- 株式分布状況



## ■ 大株主

[2010年3月31日現在]

氏名又は名称	持株数 (千株)	持株比率 (%)
財団法人西村留学生奨学財団	1,800	7.46
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,296	5.37
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,018	4.22
西村 元延	1,005	4.16
株式会社マンダム	753	3.12
西村 輝久	751	3.11
マンダム従業員持株会	728	3.02
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	708	2.94
BNP PARIBAS SEC SVC LONDON/JAS/ABERDEEN INVESTMENT FUNDS ICVC/AGENCY LENDING	575	2.38
HAYAT	453	1.88

(注) 1. 持株数は千株未満で切り捨てています。

2. 財団法人西村留学生奨学財団は、平成22年4月1日に公益財団法人西村奨学財団に名称を変更しております。

## ■ 株価推移



## 会社概要

## ■ 会社概要

[2010年3月31日現在]

- 社名 株式会社マンダム
- 本社 大阪市中央区十二軒町5番12号
- 設立 1927年12月23日
- 資本金 11,394,817,459円
- 従業員 534名(連結2,269名)
- 事業内容 化粧品、香水の製造および販売  
医薬部外品の製造および販売
- HPアドレス <http://www.mandom.co.jp/>

株式会社マンダムはISO9001(営業部門を除く本社・福岡工場)を認証取得しております。

※ISO9001審査登録範囲:株式会社マンダムが製造販売元となる化粧品・医薬部外品(但し、輸入品を除く)の設計・開発、製造及び出荷

## ■ 取締役および監査役

[2010年6月24日現在]

代表取締役	社長 執行役員	西村 元延
代表取締役	副社長 執行役員	亀井 浩
取締役	専務 執行役員	桃田 雅好
取締役	常務 執行役員	山田 憲治
取締役	常務 執行役員	斉藤 嘉昭
取締役	常務 執行役員	寺林 隆一
社外取締役	取締役	塚田 疆
社外取締役	取締役	田村 敏和
常勤監査役	監査役	安井 博史
常勤監査役	監査役	松尾 隆治
社外監査役	監査役	小寺 一矢
社外監査役	監査役	高木 進

## ■ グループ会社

[2010年3月31日現在]

## ● 国内

株式会社ピアセラボ

株式会社ギノージャパン

株式会社エムビーエス

※1

## ● 海外

PT Mandom Indonesia Tbk インドネシア

Mandom Corporation (Thailand) Ltd. タイ

Mandom Philippines Corporation フィリピン

Mandom (Malaysia) Sdn. Bhd. マレーシア

Mandom Corporation (Singapore) Pte Ltd シンガポール

Mandom Taiwan Corporation 台湾

Sunwa Marketing Co., Ltd. 中国(香港) ※2

Mandom Korea Corporation 韓国

Zhongshan City Rida Fine Chemical Co., Ltd. 中国(中山)

Mandom China Corporation 中国(上海)

※1 非連結子会社

※2 持分法適用関連会社

## ■ 株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月開催
- 基準日 定時株主総会 毎年3月31日  
期末配当金 毎年3月31日  
中間配当金 毎年9月30日  
〔そのほか、必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日〕

### 【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主さまは、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主さまは、下記の電話照会先にご連絡ください。

- 単元株式数 100株
- 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
- 株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
- 事務取扱場所 〒183-8701
- 郵便物送付先 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
- 電話照会先 ☎ 0120-176-417
- ホームページアドレス <http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html/>
- 公告の方法 当社のホームページに掲載します。  
<<http://www.mandom.co.jp/>>  
ただし、事故その他のやむを得ない事由の場合は、日本経済新聞に掲載します。
- 株主優待 毎年3月31日現在の100株以上所有の株主さまに対し、5,000円相当の当社製品を6月初旬に贈呈します。
- 上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部

### 【上場株式配当等の支払いに関する通知書について】

租税特別措置法の平成20年改正（平成20年4月30日法律第23号）により、平成21年1月以降に当社がお支払いする配当金について、配当金額や徴収税額等を記載した「支払通知書」を株主さま宛にお送りすることになりました（同封の「配当金計算書」が、「支払通知書」を兼ねることになります）。

なお、「支払通知書」は、株主さまが確定申告をする際の添付資料としてご使用いただくことができます。

### 【特別口座について】

特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、上記の株主名簿管理人である住友信託銀行株式会社の電話照会先にお問合わせください。



マンダム

検索

<http://www.mandom.co.jp/>



お問い合わせ先

株式会社マンダム 広報IR室

〒540-8530 大阪市中央区十二軒町5番12号

Tel: 06-6767-5020 Fax: 06-6767-5043

チャレンジ

未来が変わる。  
日本が変わる。



環境に配慮し、大豆油インキと再生紙を使用しております。

